

【競技上の注意】

1. 競技は、(公財)日本ソフトテニス連盟現行のソフトテニスハンドブックに準じて行う。
2. 団体戦で3組の点取り対抗戦とし、2点以上得たチームを勝ちとする。
予選リーグと決勝トーナメントの1・2回戦のマッチは5回ゲームとし、準決勝、決勝のマッチは7回ゲームとする。予選リーグは3組目まで行う。但し、大会運営上やむを得ないと競技委員長が判断する場合には5回ゲームとすることがある。決勝トーナメントは2面展開を原則とするが、場合によっては3面展開で行うこともある。複数のコートで試合を行うときは、いずれかの試合で勝敗が決まったところで終了とする。
3. コート割り、並びに進行は「試合の進行表」の通りとするが、雨天その他でやむを得ない事情により、変更することがある。
4. オーダー用紙は、所定の事項(氏名は姓名まで正確に)を記入し、予選リーグは対戦前のあいさつ後、審判に直接渡し、決勝トーナメントは対戦相手が決まりしだい大会本部の進行係まですみやかに提出すること。
5. サービス(レシーブ)とサイドの決定は、対戦前のチーム同士のあいさつの際に3組が同時に行うものとする。
6. マッチ開始前の練習は30秒以内とする。
7. 対戦中、監督と選手(競技中の選手は除く)は指定位置(ベンチ)にいること。ベンチは、若番を本部席側とする。
8. 選手変更は、監督が当日の競技開始までに競技委員長に届け出て承認を得ること。なお、初戦終了後の変更は認められない。
9. 予選リーグの審判は、同リーグの試合のないチームで行い、決勝トーナメントは、相互審判で行う。
10. 監督(または外部コーチ)及びベンチコーチについて。
※ 外部コーチも選手や監督と同様、受付時に「同意書兼健康チェックシート(提出用)」を本部に提出すること。
 - (1) 監督(または外部コーチ)1名、選手8名のベンチ入りを認める。
 - (2) 監督(または外部コーチ)以外のコーチは厳禁とする。
 - (3) 監督(または外部コーチ)の服装は選手に準ずる。
11. アンパイヤーに対する異議申し立ては、認めない。
12. マッチ中に、過度のかけ声、または相手を不快にする発声は禁止。その他、コートマナーを良くすること。プレーヤーはアンパイヤーの指示に従い、マッチの開始から終了まで連続的にプレーすること。試合終了後、勝者のチームの代表は、審判より採点票(スコアペーパー)を受け取り、速やかに本部に提出すること。
13. ユニフォーム、シューズ、ラケットは、連盟が公認したメーカーのソフトテニス用製品を使用すること。
14. 道路、駐車場での練習は絶対にしない。コートは本大会参加登録者で使用する。
15. 各学校の応援旗を使用する場合には、東西側のフェンス以外には取り付けないこと。
16. ゴミは各自で持ち帰ること。

雨天予備日に大会を行う場合は、雨天予備日用の競技上の注意により、大会を行う。